

業務状況説明書

(令和4年4月1日から令和4年9月30日まで)

西原村工業用水道事業

1 令和4年度上半期の状況

(1) 事業の概要

ア 業務

本年度の上半期の業務状況は、前年同期と比較しても大きな配水量、給水量の増減もなく、安定的に供給を行えている状況となっています。また各企業毎の契約水量と上半期の給水量の比較をしてみると、上半期では、4月に契約水量の変更が1社（650m³⇒710m³）あり、全体としては、昨年より若干の増加となっていますが、ほぼ同水準の給水量となっています。下半期にかけても各企業への給水量について注視する必要があります。

年度 区分	令和3年度 上半期	令和4年度 上半期	比較	
			増減	増減率(%)
給水管所数	8カ所	8カ所	—	—
上半期配水量	145,928 m ³	146,562 m ³	634 m ³	0.43 %
上半期給水量	139,802 m ³	140,944 m ³	1,142 m ³	0.82 %
月平均給水量	23,300 m ³	23,490 m ³	190 m ³	0.82 %
日平均給水量	776 m ³	783 m ³	7 m ³	0.90 %
上半期有収率	95.80 %	96.17 %	—	0.36 %

※月平均給水量は、上半期給水量を6で除したものの。日平均給水量は、月平均給水量を30で除したものの。

イ 建設改良事業

令和4年度の当初予算については、建設改良事業については、大きな事業等については、予定がありませんでしたが、鳥子東工業団地の造成計画に伴い、造成予定地への工業用水道を配水するため、6月補正予算において、その配水に伴う測量設計業務委託料を追加しました。今後は企画商工課の実施する造成計画に基づき、年内に委託業務を発注する予定で進めています。併せて、今後の配水量等の検討も、工業団地に立地する企業の状況に合わせて実施する予定です。

(2) 経理の状況（税込）

上半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

(単位：千円)

収 入				支 出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
事業収益	26,218	13,364	50.97 %	事業費	26,218	4,803	18.32 %
営業収益	16,008	8,594	53.69 %	営業費用	16,696	4,803	28.77 %
営業外収益	10,209	4,770	46.72 %	営業外費用	700	0	0.00 %
特別利益	1	0	0.00 %	特別損失	1	0	0.00 %
				予備費	8,821	0	0.00 %

※固定資産減価償却費については、上半期分には計上していない。

イ 資本的収入及び支出

(単位：千円)

収 入				支 出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
資本的収入	0	0	—	資本的支出	5,896	0	0.00 %
企業債	0	0	—	建設改良費	5,896	0	0.00 %
国庫(県)補助金	0	0	—	企業債償還金	0	0	—
負担金	0	0	—	予備費	0	0	—

2 令和3年度決算の状況

(1) 事業の概要

ア 業務

令和3年度については、給水状況について前年と同様の7事業所8ヶ所に給水を行いました。年度途中で契約水量の変更が1事業所(580m³⇒650m³)あり、令和3年度は、1日当たり886m³(年:323,390m³)の契約水量で運営を行いました。年間有収水量289,974m³となり、前年度と比較しても28.29%の増となりました。有収率についても96.26%となり、年々改善傾向となっています。

収益的収入については、事業収益29,227千円(税込)となり、支出においては事業費が17,190千円(税込)、当期純利益11,816千円、当年度剰余金50,643千円となっています。

区 分 \ 年 度	令和2年度	令和3年度	比 較	
			増 減	増減率 (%)
給 水 箇 所 数	8 カ所	8 カ所	—	—
年 間 総 配 水 量	236,733 m ³	301,256 m ³	64,523 m ³	27.26 %
年 間 総 有 収 水 量	226,022 m ³	289,974 m ³	63,952 m ³	28.29 %
年 間 有 収 率	95.48 %	96.26 %	—	0.78 %

イ 建設改良事業

西原村工業用水事業の事業全体として、令和3年度では、小牧水源地2号井において、落雷による取水ポンプの故障が発生し、水中ポンプの入替え工事(税込2,420千円)を実施しました。その他の施設等については、漏水や大きなトラブルも発生せず無事に事業が行えました。西原村中央簡易水道事業と併用した中央監視システムにより、工業用水道事業施設の稼働状況も明確に把握出来ており、安定供給に努めることができました。

今後は、工業用水道施設の老朽化した配水管及び施設の耐震化や、工業団地新設に向けた計画との情報を共有し、配水能力の増強を見据えた施設の計画的な新設・更新することで、西原村の産業活動の基盤となる工業用水の安定供給の確保を図る必要があります。

(2) 経理の状況（税込）

ア 収益的収入及び支出

事業収益が、27,985,360円（税込金額：29,226,978円）で、前年度対比24.6%の増となりました。主な要因としては、契約水量の増に伴う営業収益の増が挙げられます。事業費用では、16,168,487円（税込金額：17,190,105円）で、前年度対比43.3%の増となり、主な要因としては、新規に会計年度任用職員の採用に伴う人件費の増が挙げられます。

この結果、11,816,873円の純利益となり、年度末利益余剰金合計が106,508,918円となりました。

イ 資本的収入及び支出

収入は、0円で、支出が2,200,000円（税込金額：2,420,000円）となりました。

なお資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額2,420,000円は、建設改良費積立金2,200,000円、当年度分損益勘定補修資金220,000円での補填を行いました。

収益的収入及び支出（税込）

（単位：円）

収 入			支 出		
科 目	決 算 額	構成比	科 目	決 算 額	構成比
事業収益	29,226,978	100.00	事業費	17,190,105	100.00
営業収益	16,593,087	56.77	営業費用	16,497,205	95.96
営業外収益	12,633,891	43.22	営業外費用	692,900	4.03
特別利益	0	—	特別損失	0	—

資本的収入及び支出（税込）

（単位：円）

収 入			支 出		
科 目	決 算 額	構成比	科 目	決 算 額	構成比
資本的収入	0	—	資本的支出	2,420,000	100.00
企業債	0	—	建設改良費	2,420,000	100.00
工事負担金	0	—	固定資産	0	—
国庫(県)補助金	0	—	企業債償還金	0	—
他会計補助金	0	—			